

## 第 6 7 回「電波の日」総務大臣表彰

## 1 個人：3 件

(敬称略：五十音順)

氏 名	功績の概要
たかはた ふみ お 高畑 文雄  早稲田大学 理工学術院 教授	多年にわたり、情報通信審議会委員を務めるとともに、「戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）電波有効利用促進型評価委員会」委員長として、電波有効利用に資する取組に尽力し、電波行政の発展に多大な貢献をした。
まえだ ただあき 前田 忠昭  東京瓦斯 株式会社 顧問	多年にわたり、電波監理審議会会長及び同会会長代理として、電波及び放送に関する重要事項の調査審議に公平かつ的確な判断と有益な助言を行うとともに、同会の円滑な運営に尽力し、我が国の情報通信行政の発展に多大な貢献をした。
みき てつや 三木 哲也  電気通信大学 名誉教授	多年にわたり、「電波利用料による研究開発等の評価に関する会合」座長を務めるとともに、情報通信審議会情報通信技術分科会航空・海上無線通信委員会主査として、新たな航空・海上無線通信システムを推進するなど、電波技術の発展に多大な貢献をした。

## 2 団体：2 件

(敬称略：五十音順)

団体名	功績の概要
株式会社 熊本シティエフエム （代表取締役社長：まつもと ふじお 松本 富士男）	熊本地震において、身近な地域の防災・災害・生活情報放送を 24 時間生放送で実施するとともに、コミュニティ放送局を休止して臨時災害放送局として運営するなど、災害時における基幹放送局としての使命を十分に果たし、熊本市の地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をした。
株式会社 中国放送 （代表取締役社長：はたや けんじ 畑 矢 健 治）  南海放送 株式会社 （代表取締役社長：たなか かずひこ 田中 和彦）  山口放送 株式会社 （代表取締役会長：あかお よしふみ 赤尾 嘉文）	FM 同期放送の実現に向け、実験などを実施し全国に先駆けて導入することで地域の電波利用の効率化に尽力するとともに、FM 同期放送の利点や効果を広く周知するなど、電波技術の普及・展開に多大な貢献をした。